

KOKUHO MIYAGI

みやぎの国保

10
2016 Autumn
[No.266]

国保のなかまたち

富谷市
健康推進員とともに健康づくりを.....

2

データヘルス最前線

塩竈市
市民のQOLの維持向上にむけて.....

4

国保徒然草

6

Health Information

7

みやぎの頼れるサポーター

8

国保連コーナー

9

旬のたより

16



富谷市

【とみやし】

富谷市は、宮城県のほぼ中央部に位置し、かつては奥州街道の宿場町として栄えました。町制施行した昭和38年当時、5,000人余りだった富谷町は、2016年10月10日市制施行し、「住みたくなるまち日本一」を目指して、新たなステージでの新たなまちづくりがスタートしました。



航空写真(富谷)CTから高屋敷)2014.5.19

市町村国保のいま

富谷市の国保被保険者数は微減している一方、前期高齢者の割合は増加傾向にあり、医療費増加の一因となっています。

国保被保険者数は、平成27年度9,272人(前年比0.19%、18人の減)、加入率17.71%となっています。

このうち前期高齢者は、3,887人、構成比41.92%であり前年比5.03%、186人の増となっています。

また、国保税の収納率については、平成26年度96.62%、平成27年度96.21%(県内第3位)と県平均を上回る収納率となっています。

<市の国保の概況>

	26年度	27年度
市の人口[人]	51,980	52,347
国保世帯数[世帯]	5,194	5,260
国保加入割合(被保険者数割)[%]	17.87	17.71
国保税収納率(現年分)[%]	96.62	96.21
被保険者数[人]	一般	8,687
	退職	603
	合計	9,290
1人当たり医療費[円]	一般	318,102
	退職	361,837
	全体	321,258
特定健診受診率[%]	58.60	60.87



〔表紙作者紹介〕

かわむら みほ(2016年より仕事名を【斎藤ミホ】から変更)
造形作家/イラストレーター
仙台市生まれ。
東北工科大学専門学校<現 東北文化学園大学>グラフィックデザイン科卒。母校の教員を経て1995年よりイラスト制作業(フリー)。
現在は、水彩画の他、板木彫り絵く独自表現>、木版画作品を制作。個展<仙台、盛岡、東京>等での発表を中心に活動している。



いにしえ香る宿場町しんまち富谷宿 <富谷2016>

江戸時代、奥州街道の宿場町のひとつとして栄えました富谷「しんまち」。その中心「中宿」の通りには、本陣ともなっていた老舗酒造の酒蔵もいっしょに軒を並べ、いにしえの風情残る景観を楽しみながら、通り沿いをゆっくり散策することが出来ます。
資料館にもなっている「富谷宿」の建物は元商家の土蔵を改修。その美しいなまこ壁と瓦の色や形に心惹かれ今回テーマにしたいスケッチしてきました。

健康づくりで
まちづくり

わがまちの取り組み

健康推進員とともに健康づくりを

富谷市では、平成28年2月に国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)を策定しました。

計画策定にあたり、医療費やKDBシステム等のデータ分析から、外来医療費、生活習慣病患者数とともに高血圧症が最も多く、また、特定健診結果から、血圧の有所見者率が40代より増加傾向にあることが見えてきました。

このことより、高血圧症及び脳血管疾患対策を優先に、保健事業を計画しました。

高血圧予防の保健事業の一環として、地域で活躍している健康推進員と市が協働で高血圧の予防啓発に取り組んでいます。



▲こちらを使って予防啓発活動に取り組中!!

地域ぐるみで 高血圧キャンペーン

6月1日から約1か月行われた特定健診会場に、栄養士・保健師と健康推進員が一緒に出向き、健診を受けに来られた方へ高血圧に関する市の現状や毎日の食生活で簡単にできる減塩の工夫など「健康推進員だより」やフードモデルを使っでの啓発を行いました。

健康推進員からも「意外と塩分摂取のことについて、知らない人が多いことが分かった」「身近なところで、啓発できる機会なので良かった」という声が聞かれました。

特定健診の他、若い方が多く受ける乳がん検診の会場にも出向き、同様に継続して実施しました。



▲特定健診会場での活動の様子

塩分アタック 目指せ1038!

地域の方を対象に「地区健康教室」を行っています。こちらでは、「塩分アタック目指せ1038!」をテーマに、参加する方にご家庭で作った味噌汁を持参してもらい、塩分測定と塩分摂取についてのアンケートを行い、日頃の食生活を振り返ってもらいました。また、栄養士や保健師から高血圧予防に関連した講話や調理実習にて適塩レシピや減塩方法の工夫を紹介しました。

富谷(とみや)にちなんで、塩分測定人数の目標を1,038人にしており、健康推進員と目標達成に向けて、健康教室を企画実施しています。



▲2016ふるさとまつり
「ランタン・夢・アート」

今後も、富谷市民一人ひとりの主体的な健康づくりを応援し、推進するために、「オール富谷」で頑張っ取り組んでいきます。

データヘルス最前線

昨年度の「みやぎの国保」にて、シリーズ連載でお送りしていた「おしえて！データヘルス(全4回)」の継続企画として、今年度は実際にデータヘルス計画を策定し、保健事業を実施している保険者を全3回で紹介いたします。

全3回

第3回【塩竈市 しょうがまし】

市民のQOLの維持向上に向けて

塩竈市は、宮城県のほぼ中央、仙台市と日本三景で知られる松島との中間に位置する人口55,247人、国保加入者13,602人の市です。本市は、奥州一の宮「鹽竈神社」の門前町として、また、みなとまちとして栄えてきました。国保の保健事業については、主に計画等の企画調整を保険年金課、実施主体を健康推進課で分担し実施しています。

本市では、健診・医療情報を活用(分析)し、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業(データヘルス)の推進を図るため、平成27年3月に塩竈市国民健康保険データヘルス計画を策定しました。なお、策定にあたって、次の検討を行いました。

【基本方針】

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い、課題を明確にする。
2. 明確になった課題から「短期的な対策」「中・長期的な対策」を選択。費用対効果の認める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
実施する事業については、即効性があるが効果額が小さい「短期的事業」と即効性がないものの将来の大きな医療費適正化につながる「中・長期的事業」に分け、これらが効率良く事業展開することを目指す。

【分析結果】

平成26年度における本市国保の医科、調剤レセプトを分析したところ、次のように疾病の特徴が明確になりました。

① 医療費総計が高い疾病(大分類)

	疾病(大分類)	年間医療費(円)
1位	循環器系疾患	845,907,400
2位	新生物	672,497,545
3位	内分泌栄養及び代謝疾患	493,640,703

② 医療費総計が高い疾病(中分類)

	疾病(中分類)	年間医療費(円)
1位	高血圧性疾患	299,702,717
2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	261,515,250
3位	糖尿病	258,569,937

③ 患者一人当たりの医療費が高額な疾病

	疾病(中分類)	患者一人当たり医療費(円)
1位	白血病	1,480,503
2位	腎不全	809,846
3位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	655,427

④ 高額(5万点以上)レセプトの件数と割合

	高額レセプト件数	122件(月間平均)
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	29.1%

⑤ 高額(5万点以上)レセプトの要因となる疾患

	疾病(中分類)	患者一人当たり年間医療費(円)
1位	腎不全	5,437,923
2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	3,874,632
3位	その他の脳血管疾患	3,772,808
4位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	3,682,916
5位	気管、気管支及び肺の悪性新生物	3,424,822
6位	その他の心疾患	3,237,958



【課題と対策】

本市国保の特徴は、生活習慣病の合併症として発症する可能性の高い腎不全や新生物(がん)の医療費が高く、これらの疾病への対策が重要な課題であることが分かりました。特に生活習慣病は発症から重症化までの期間が長く、重症化した場合の医療費も大きくなることから、特定健診未受診者対策といった生活習慣病の発症予防を目的とした事業と、糖尿病腎性重症化予防といった生活習慣病の重症化予防を目的とした事業を並行して取り組むことにしました。

【実施事業】

本計画で取り組む事業は、これまで取り組んできた事業を含め次の8事業とし、表のとりのスケジュールで進めていくことになりました。

実施事業の主な取り組み

特定健診未受診者対策事業

特定健診未受診者について、レセプトデータを分析し、現状が不明な方に対し追加健診受診勧奨を行うとともに、医療機関治療中の方に対しても重症化予防の重要性の周知と共に追加受診勧奨を行っています。

糖尿病性腎症重症化予防事業

レセプト分析をした結果、糖尿病ステージⅢ・Ⅳ期の方を対象に、人工透析治療に移行しないよう保健師・栄養士による栄養指導・運動指導といった保健指導を実施します。なお、対象の方への保健指導にあたっては、宮城県塩釜医師会の協力のもと、かかりつけ医と連携し進めております。



※各年度を3ヶ月1Q(クール)の4Qに分けて、それぞれの事業をPDCAサイクルに沿って実施しています。

データヘルス計画を通して

長年、本市では、一人あたりの医療費が、県内でも上位に位置し、その原因について分析・把握すべきだと考えていました。

今回のデータヘルス計画の策定を通じ、レセプト分析を行うことで本市国保被保険者の疾病の特徴が分かり、その対策をどのようにすべきか関連機関と考察しながら、各種保健事業を計画的に取り組むことが出来ました。

データヘルス計画に基づいた保健事業については、始まったばかりなので成果・効果等はこれからですが、PDCAサイクルに沿って保健事業の改善を行い、より良いものとしていしつつ、被保険者のQOLの維持と本市国保の医療費適正化に向けて進めていければと考えています。

国保徒然草

色麻町 町民生活課 課長

たかはし まさひこ

高橋 正彦

【筆者プロフィール】

国保担当歴：通算4年5ヶ月
(担当係長3年、
担当課長1年5ヶ月)

趣 味：スポーツ
(野球、スキー、ゴルフ)、
旅行

愛 読 書：漫画「沈黙の艦隊」かわぐちかいじ
が描いていると：いっぱいありすぎるが、今はゴルフで90を切ること。



やっぱり健康第一

国保の経験から

皆さんこんにちは。色麻町の高橋と申します。昨年4月から町民生活課長として国保を担当しています。前に係長として3年間の経験があったので、なんとか対応できている状況ですが、担当当初は、民生・福祉部門は初めてということもあり、国保制度を理解し、円滑に業務ができるまですごく頑張った思い出があります。

この間、高齢者、障害者、様々な家庭事情や経済的な問題を抱えている方々との関わりを通じ、町民の幸せとは何か？行政の役割とは何か？を改めて考えさせられた期間でもあり、その経験を踏まえ、今は問題点を見つけては、改善しようと取り組んでいます。

健康こそ幸せ

その一つとして、国保から見てくる町民の健康についてです。

病気など到底縁もなさそうに見えていた町民の方が、高額医療費の申請に来庁されると驚き、その方が一家の大黒柱ならなおさらで、治療や入院により仕事の収入は減り、医療費の支出は増え、瞬く間にその世帯の家計は厳しい状況となってしまいます。「早く検診を受けておけば良かったなあ」・・・そんな言葉を聞くたびに胸が痛み、健康の大切さを実感し、このような方々への受診呼びかけが最も重要と考えるようになりました。

本町の特定健診の受診率は近年52%前後で推移、保健福祉課と協力し健康講話、健康教室、ポイント制の導入、健康祭りの開催等事業を展開し、健康に無関心な町民の意識向上

を図っています。保健師の努力により着実に成果をあげていますが、町民一人ひとりが健康であることの幸せを共有できるまで、今後も根気強く啓発して行きたいと考えています。

自分の健康は？

国保担当としてそんな目標を持っていますが、いざ自分はどうか？

私は、昔からスポーツをしてきたお陰か大病も無く、人間ドックも毎年受診し結果も良好でしたが、5年前位から数値に変化が現れ、一昨年は遂にメタボによる特定保健指導を、昨年はピロリ菌除去を、今春初めてインフルエンザを体験、先日受診した人間ドックでは休肝日の指導を受けてしまいました。

原因は明瞭で、スポーツをする機会が減ったことによる運動不足と旬の食材を肴に晩酌を嗜んでいること。最近の晩酌では「休肝日」と「酒は百薬の長」の言葉が常に脳を刺激しています。

健康第一

「酒は百薬の長」を詳しく調べたら続きがありました。「酒は百薬の長とはいへど、よろづの病はさけよりこそおれ」と「徒然草」に、後段の意味は「万病の元は酒に通ず」とのことでした。(涙)

酒は適量、休肝日を設け、適度な運動で「健康第一」町民の健康と幸せのお手伝いができるのも、自分の健康があつてこそ。気付かせてくれた「国保徒然草」に感謝！



歯周病も生活習慣病？

西多賀歯科クリニック 院長 佐藤 勝



歯周病とは？

歯周病とはその名の通り、歯の周囲の疾患です。歯の周囲には歯槽骨という歯の根が差し込まれている骨や、その骨と歯を繋ぐ歯周靱帯(歯根膜ともいいます)、歯根の表面にセメント質という組織、そして歯肉という組織があります。歯の本体ではなく、これら歯を取り巻く組織(歯周組織)の炎症が歯周病ということになります。歯周病で最も多いのが歯の周りの汚れ(歯垢や歯石)が原因で生じる炎症です。この炎症が歯肉に限定されているものを「歯肉炎」と呼んでいます。歯肉が赤く腫れて、ちょっとした刺激でも出血しやすいのが特徴です。この症状に加えて、歯槽骨や歯周靱帯までもが炎症に巻き込まれた状態のものを「歯周炎」と呼び、この「歯肉炎」と「歯周炎」を総括して歯周病と呼んでいます。歯周炎に共通するのは歯周ポケットが現れ、炎症がひどくなると歯槽骨や歯周靱帯までもが吸収されて、歯根の歯槽骨への差し込みが浅くなるため歯の動揺が大きくなっていくことです。(図1) 歯と歯肉の間から膿が出ることもあるため「歯槽膿漏」とも言われていました。このような状況になると口臭の原因にもなってきます。この他、強い噛み合わせや、被せ物の不適合が原因で発症することもあります。他の疾患や服薬している薬剤の副作用で起こる歯周病もあります。歯周病の例を図に示します。(図2)



歯周病の治療

歯周病の治療は歯周ポケットを浅くすることを目的に行うのが一般的です。まずは原因の除去から始まります。歯周病の原因となる歯垢や歯石の除去(歯磨きとスクレーピング)が基本的な治療です。歯磨き(ブラッシング)は歯垢を除去するだけでなく、腫れた歯茎に適度な刺激を与えることで歯肉の引き締める効果もあります。これらの治療だけで改善が見込めない場合は、歯肉を切除したり、歯肉を剥離して歯槽骨を成形するような手術を行うこともあります。これを歯周外科手術といいます。歯周病は進行性の慢性疾患であるため、発症前の健康な状態に治すのは難しい疾患です。むしろ、進行を止める、あるいは進行を抑える(遅らせる)ことが治療目標となることが多いのが歯周病治療です。したがって、治療の結果、歯周ポケット浅くなったものの歯根の露出や歯肉の退縮は免れなかったという例は多いと思います。炎症の程度や進行の度合いによっては抜歯もやむを得ないというのが歯周病のいやらしいところですね。(図3) この他

に、動揺している歯を固定したり、歯周病の原因となっている不適合や形態のおかしい修復物をきちんとしたもの置き換える処置なども行われることがあります。

歯周病の原因が歯垢や歯石、そしてタバコなども歯周病の増悪因子であることを考えると、むしろ歯同様に歯周病も立派な生活習慣病とみることもできそうですね。



みやぎの 頼れる サポーター



みんなの健康
を支えます!!

今回
ご紹介するのは…



栗原市市民生活部健康推進課 保健師 田代 たしろ
あや 文さん

自分らしい生活が 送れるように、 住民に寄り添って…

健康管理や予防行動をとれる 住民を増やす！

現在、栗原市健康推進課保健指導係に所属し、成人・高齢者保健の地域リハビリテーション相談や高次脳機能障害の支援に関すること、母子保健、精神保健を担当しています。栗原保健所の作業療法士や関係機関の方々と連携し、地域でその人らしい生活が送れるところを目指し支援をしています。

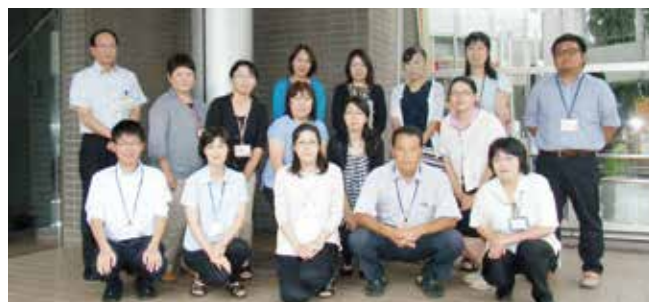
栗原市では『くりはら市民21健康プラン』において、住民に多くみられる脳卒中の予防・リハビリに取り組んでいます。これからも自分の健康管理や予防行動とれる住民が増えていくよう働きかけができればと思っています。

住民一人一人との関わりを大事に、 丁寧に真摯に向き合う

普段から仕事をするにあたり、住み慣れた地域でその人らしく生活するために必要なことは何か、どうしたらより良いのかを考えながら支援をしています。仕事で迷った時はもちろん、普段から係や課内の上司や同僚と情報共有し、相談し、助言を受けながら業務にあたっています。実は先日、以前担当していた地区の方から声をかけていただいたことがあり、大変うれしい思いをしました。そんなことから、住民一人一人との関わりを大事に、丁寧に真摯に向き合うことを心がけています。

リラックス&リフレッシュ!!

私自身の健康法は、よく食べ、よく寝て、よくしゃべる、そ



▲いつも支え合う健康推進課の仲間たちと(前列中央が田代さん)

して少しの運動をすることです。その中でも特に睡眠が重要で、毎晩遅くても夜の12時前には布団に入り、ゆっくりと呼吸を整えてリラックスしてから眠ると、翌日スッキリと目覚めることができます。また、日頃からノルディックウォーキングにも取り組んでいます。田園風景の中のウォーキングは四季の移り変わりを感じられ、適度に汗をかき、心身ともにリフレッシュできています。

他にも趣味としてプリザーブドフラワーのアレンジメント教室に8年通っており、昨年は作品展に出展し多くの方に作品を見ていただきました！作成中は花の配置や配色に集中するので、時間が経つのも忘れて没頭しています。そうして思い通りの作品ができた時は自己満足に浸っています(笑)。また、旅行に行くことも好きで今まで知らなかった土地の文化に触れ、その土地でしか味わえないものを食べることに喜びを感じています。今後は海外旅行にも行きたいですね。



▲展示会に出展した作品です！

住民とのつながりを大切に

これからも保健師としていろいろな経験を積み、住民とのつながりを大切に、住民が住み慣れた地域で健康で生き生きと自分らしい生活を送れるよう、予防的な視点を持って保健活動をしていきたいと思っています。

田代さん、ありがとうございました。

国保連コーナー



こくほ健康フォーラム21 開催のごあんない

と き

平成28年

11月25日(金) 午後1時～

ところ

名取市文化会館

名取市増田字柳田520

※無料駐車場あり

特別講演

●演題

現代に活かす戦国武将の健康力

●講師

植田 美津恵 氏(医学ジャーナリスト)

当日の日程

●開 会 13:00

表彰式

国保連合会理事長表彰・国保中央会表彰

●特別講演 13:40～

●事例発表 14:50～

●テーマ:我がまちの健康づくり・まちづくり

●閉 会 16:00



講師プロフィール

医学ジャーナリスト・医学博士。
学校法人 専門学校 首都医校(東京)教授。
愛知医科大学医学部 客員研究員。
専門は、公衆衛生学・医療安全・心理学・医療制度など幅広い。
各大学にて教壇に立つほか、医学番組の監修、テレビコメンテーター、講演活動をこなす。
『戦国武将の健康術』『忍者ダイエット』等著書多数。

今年は、メディアでも保健活動がクローズアップされている愛知県蒲郡市さん、県内の地域で活動されている脳キラッとなとりの会さん、山元町食生活改善推進員協議会さんからそれぞれの活動内容を紹介していただきます！

多数のご参加を心からお待ちしております。

主催／宮城県国民健康保険団体連合会 問合せ先／事業推進課事業係 電話 022(222)7077

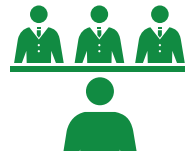


TOPICS

平成28年度 第1回通常総会

平成27年度
事業報告および各種会計歳入歳出決算など

原案どおり可決



規制改革会議の動きを注視するとともに新国保制度施行に向け万全を期す

7月26日、本会第2会議室で平成28年度第1回通常総会を開催した。

開会の挨拶において、佐藤理事長は会員各位に対し謝辞を述べ、さらに、政府の規制改革会議「健康・医療ワーキング・グループ」において、「診療報酬の審査の効率化と統一性の確保」が議題として取り上げられていることにふれ、今年12月までに厚生労働省内に設置された「データヘルス時代の質の高い医療の実現に向けた有識者検討会」において対応をまとめる予定となっており、国保連合会も審査支払機関の在り方の検討対象となることが想定されていることから、情報収集を行いながら今後の議論の行方を注視していく旨話した。

また、平成30年度からの新国保制度施行に向け、本会としても昨年8月に設置した「新国保制度対策室」を中心に保険者をはじめとした関係機関との連携や円滑な対応を図れるよう万全を期していくことを表明した。

次に来賓の祝辞に移り、宮城県保健福祉部長(代理:千葉隆政保健福祉部次長)、続いて宮城県歯科医師会細谷仁憲会長が祝辞を述べられた。

その後、総会議長に大郷町の赤間正幸町長が就任され、平成27年度事業報告および各種歳入歳出決算ならびに平成28年度各種会計歳入歳出補正予算などについて審議が行われ、全議案ともに異議なく満場一致で可決承認された。



挨拶する佐藤理事長



保健福祉部長祝辞を代読する
千葉保健福祉部次長



祝辞を述べる
細谷歯科医師会会長



議長の大郷町長



平成28年7月12日開催の理事会において議決された下記事項について公告する。

公告第5号

諸規則等の一部改正

・保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業規則の一部を改正する規則

平成28年7月12日

宮城県国民健康保険団体連合会 理事長 佐藤 昭

平成28年7月26日開催の通常総会において議決された下記事項について公告する。

公告第6号

・平成28年度各種会計歳入歳出補正予算

公告第7号

・平成27年度事業報告

公告第8号

・平成27年度各種会計歳入歳出決算
・財産目録
・財産の処分

公告第9号

・次期国保総合システムデータセンターハウジング業務に係る債務負担行為の補正
・介護保険システム運用業務等に係る債務負担行為

平成28年8月9日

宮城県国民健康保険団体連合会 理事長 佐藤 昭

※平成28年7月12日開催の理事会及び平成28年7月26日開催の通常総会において議決された事項については、本会ホームページに掲載しています。



TOPICS

介護事業所のリスクマネジメント ～介護事故裁判例から学ぶ介護サービスの質～

介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会

「介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会」を6月22日(水)イズミティ21大ホールに於いて開催し、518機関、631名が出席した。

来賓である宮城県保健福祉部長寿社会政策課の白鳥介護政策専門監から「事故の発生を未然に防ぐことは、サービスの質の確保・向上という観点において大変重要である。本日の研修内容を活かしていただき、今後とも利用者の立場に立った介護サービスの提供にご尽力いただきたい」との挨拶があった。続いて、東北福祉大学総合福祉学部准教授の菅原好秀氏を講師に招き「介護事業所のリスクマネジメント～介護事故裁判例から学ぶ介護サービスの質～」と題し、実際の裁判例を基にした介護事業所におけるリスクマネジメントをテーマに講演を行った。

様々な裁判例を基に、心からの謝罪やナラティブ(寄り添いと語り)・アプローチを活用した利用者や家族への誠

実な対応、介護事故予防の取り組み、リスクマネジメントに対する意識向上、訴訟に至らない適切な対応等について講演をいただいた。参加者からは、「言い訳をしないことの大切さ、謝罪で自責の念を表示、誠意をどう伝えるか、ナラティブ・アプローチ、ワンストップサービス等を実践に活かしていきたい」「職員全員に考え行動して欲しいので、資料だけではなく実際に話をして伝えたい」「研修会で学んだことを職員間で共有し、実践に活かしていきたい」など、多くの意見が寄せられた。



▲「言い訳をせず誠実な対応をする」と話す講師の菅原好秀氏

TOPICS

第三者行為求償事務取組強化に向けて！！ ―第三者行為求償事務担当者研修会―

7月28日(木)本会会議室で「第三者行為求償事務担当者研修会」が、県内市町村および国保組合等の担当職員46名出席のもと開催された。

研修会は、札幌市職員であり、本年度より厚生労働省第三者行為求償事務アドバイザーに就任した杉本真希子氏による、「第三者行為求償の実務について」と題した講演と、本会担当者による「求償の基本的な考え方や流れ」等事務的説明の2部構成で行われた。

講演では、「現在、国保財政の改善に向け第三者行為求償の積極的取り組みが国の施策となっている」「第三者行為求償は、全て根拠法令に基づいており、これらの法令を趣旨と併せて理解することは業務の基本である」などの話とともに、事例をふんだんに交えた札幌市での対応や、交渉などの取り組みも紹介された。

出席者からは、講演に対し「詳しい事例の話が多くあり興味深く聞くことが出来た」「求償事務の取り組みに対するヒントをもらった」などの感想が寄せられ、実際の現場での経験に基づく杉本氏の言葉に、あらためて求償事務の内容整理と、今後の業務遂行への意欲を感じさせられる研修となった。



◀事例を交えて講演する杉本真希子氏



取組強化に向けて熱心に聞く参加者たち

TOPICS

新国保制度に係るシステムの対応について

平成30年4月の新国保制度施行まで残り1年半となりましたが、本会としても関係機関の皆様と連携を図り、円滑な導入に向け着実に準備を進めてまいります。

本会が運用する「国保情報集約システム」については、7月5日(35市町村・39名出席)、8月26日(33市町村・45名

出席)に市町村担当者向けの説明会を開催し、「国保情報集約システムにおける処理の概要」「資格情報及び高額該当情報の概要」等の説明を行いました。

「国保情報集約システム」における今後のリリース及びテストスケジュール等は、以下のとおりです。

■国保情報集約システム

【主な機能】

- ・市町村毎に保有する資格取得・喪失年月日の情報を都道府県単位で集約する機能。
- ・被保険者が、同一都道府県内で住所異動した場合に、資格取得・喪失年月日を確定し、市町村に提供する機能。
- ・同一都道府県内で住所異動した場合、市町村に対し世帯の継続性の判定や、前住所地等における高額療養費の多数回該当に係る該当回数を提供する機能。

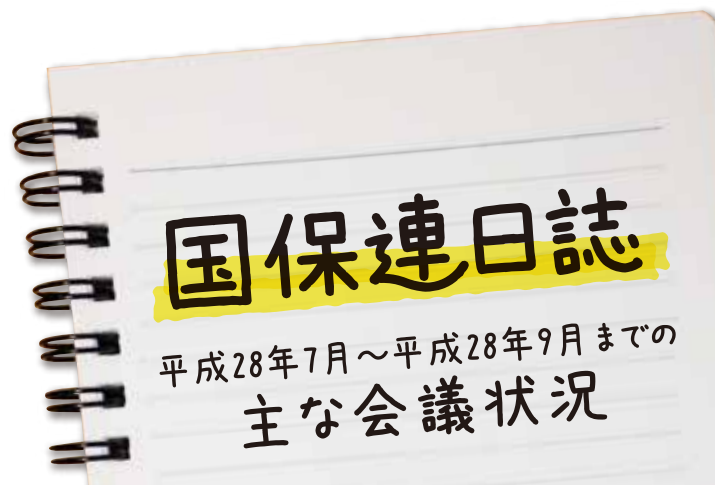
【今後のリリース】

期 日	リリース等	市町村の対応	概 要
平成28年 10月11日(火)	異動データ チェックツール	市町村は サポートサイトから ダウンロードを行う。	市町村は、チェックツールを用いて異動データを事前チェック 国保情報集約システムのセットアップ対象となるデータを、国保情報集約 システムがリリースされる前に市町村がチェックできるよう、作成した セットアップデータをチェックし、エラー内容をエラーファイルに出力します。
平成29年 4月	本稼働版 プログラム	国保情報集約システムリリース後、市町村と本会で次のテストを実施します。	

【市町村のテストスケジュール】

テスト予定月	市町村使用システム	概 要
平成29年 6月～11月	住基等の自庁システム (改修により継続使用)	自庁システムを使用する市町村は、以下のテストを実施します。 (1)情報集約システムにおける資格情報取り込みテスト(6月下旬～8月上旬) (2)情報集約システムにおける資格・世帯継続テスト(8月中旬～9月末) (3)情報集約システムにおける高額該当引継テスト(10月中旬～11月末) (4)自庁システムにおける資格情報取込テスト ※データ取込テスト開始までに、異動データチェックツールを利用し、資格情報(世帯・個人) や世帯所得区分情報のチェックを行います。
平成29年 12月	市町村事務処理 標準システム(新規導入)	市町村事務処理標準システムを導入する市町村は、情報集約システムとのインタフェースの 授受に係る機能を担保しリリースされることから、情報集約システム稼働時のデータセット アップ時の処理時間を見積もることを目的とし、本システムから出力される全量データの資格 情報ファイル(世帯・個人)、世帯所得区分情報ファイルの取り込みを確認します。
平成29年12月～ 平成30年2月	自庁システム (改修により継続使用) 及び 市町村事務処理 標準システム(新規導入)	全市町村によるテストによって、市町村間転居に伴う連携テスト、次期国保総合システムとの 連携テストを目的として、次のテストを実施します。 (1)情報集約システムの資格・世帯継続テスト(12月) (2)情報集約システムの高額該当引継テスト(平成30年1月～2月)

○平成28年度における国民健康保険事業費納付金及び標準保険料率の試算に必要な「市町村登録マスタ」及び「市町村基礎ファイル」については、市町村において国保総合システム端末から本会に送信されたデータを基に、集約の上、宮城県に提出します。



平成28年7月～8月

①平成28年度
特定健診・保健指導実践者
育成研修「技術編、計画・評価編」

7月15日と8月3日の両日、宮城県、宮城県保険者協議会、本会主催の平成28年度特定健診・保健指導実践者育成研修を開催しました。本研修は各保険者の保健師等を対象に、生活習慣病予防のための特定健診・保健指導の円滑実施を目的に開催しており、「基礎編」(6月)、「技術編」(7月)、「計画・評価編」(8月)と内容を3段階に分けて実施しています。7月開催の「技術編」では、健診結果や保健指導に関する講義・演習を行い、8月開催の「計画・評価編」では保健指導の取組事例や評価に関する講義・演習を行っています。(写真は7月15日の様子です。)



平成28年7月

- 1日(金)
・介護保険業務に係る保険者巡回訪問(松島町・利府町)
- 4日(月)
・平成28年度レセプト点検ブロック別研修会(石巻市役所)
- 5日(火)
・国保情報集約システム担当者説明会
・介護保険業務に係る保険者巡回訪問(岩沼市・亘理町)
- 7日(木)
・保険者協議会
・監事会
・三役会議
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(松島町)
- 8日(金)
・平成28年度レセプト点検ブロック別研修会(岩沼市役所)
- 12日(火)
・理事会
・介護保険業務に係る保険者巡回訪問(色麻町・大和町)
- 13日(水)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(川崎町)
- 14日(木)
・東北地方国保運営協議会代表者連絡協議会(岩手県)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(南三陸町)
- 15日(金)
・柔道整復審査委員会
・平成28年度特定健診・保健指導実践者育成研修「技術編」……①
・元気な高齢者支援事業(大和町)
・レセプト点検等事務支援(大崎市)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(白石市)
- 20日(水)
・介護サービス事業所等集団指導(東北歴史博物館)
- 21日(木)
・介護サービス事業所等集団指導(東北歴史博物館)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(蔵王町・七ヶ宿町)
- 21日(木)～26日(火)
・診療報酬審査委員会
- 22日(金)
・介護給付費等審査委員会介護医療部会
・介護サービス事業所等集団指導(大河原合同庁舎)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(大河原町・岩沼市)
- 25日(月)
・介護サービス事業所等集団指導(大河原合同庁舎)
・元気な高齢者支援事業(大崎市)
- 26日(火)
・通常総会 P10参照
・介護サービス事業所等集団指導(石巻合同庁舎)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(女川町・涌谷町)
- 27日(水)
・介護サービス事業所等集団指導(登米合同庁舎)
・介護保険業務に係る保険者巡回訪問(大河原町・白石市)
- 28日(木)
・市町村向け第三者求償事務研修会 P12参照
・介護サービス事業所等集団指導(石巻合同庁舎・登米合同庁舎)
- 29日(金)
・元気な高齢者支援事業(大郷町)
・平成28年度第1回宮城県国保連合会介護保険調査研究委員会小委員会
・介護サービス事業所等集団指導(石巻合同庁舎)

平成28年8月

- 1日(月)
・国保・後期高齢者ヘルスサポート事業支援事業(気仙沼市)
- 2日(火)
・介護保険業務に係る保険者巡回訪問(女川町・石巻市)
- 3日(水)
・平成28年度特定健診・保健指導実践者育成研修「計画・評価編」①
- 9日(火)
・市町村等データヘルス推進会議(大崎合同庁舎)……③
- 15日(月)
・第2回宮城県国保連合会保健事業支援・評価委員会事業支援部会

- 17日(水)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(柴田町)
- 18日(木)
・柔道整復審査委員会
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(気仙沼市)
・市町村等データヘルス推進会議(大河原合同庁舎)……③
- 18日(木)～23日(火)
・診療報酬審査委員会
- 23日(火)
・健康なまちづくりシンポジウム(東京都)
- 24日(水)
・介護給付費等審査委員会介護医療部会
・全国市町村国保主管課長研究協議会(東京都)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(山元町)
- 24日(水)～25日(木)
・市町村等データヘルス推進会議(宮城県自治会館)……③
- 25日(木)
・元気な高齢者支援事業(角田市)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(塩竈市・七ヶ浜町)
- 25日(木)～26日(金)
・東北・北海道国保連合会第1回運営研究協議会(岩手県)
- 26日(金)
・国保情報集約システム担当者説明会
・介護保険業務に係る保険者巡回訪問(美里町・大衡村)
・障害介護給付費等支払業務に係る市町村巡回訪問(登米市・気仙沼市)
- 29日(月)
・在宅保健活動者連絡協議会第2回運営委員会
- 31日(水)
・平成28年度市町村国保連協委員及び国保主管課長合同研修会 ②
(仙台市シルバーセンター)

平成28年9月

- 1日(木)
・介護保険業務に係る保険者巡回訪問(名取市)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(大郷町・大衡村)
- 3日(土)
・医師国保業務連絡会
- 6日(火)
・平成28年度歯科医師国保組合との協議会
・市町村保健事業支援モデル事業(七ヶ浜町)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(東松島市)
- 7日(水)
・障害介護給付費等支払業務に係る市町村巡回訪問(多賀城市・岩沼市)
- 8日(木)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(栗原市・美里町)
- 9日(金)
・平成28年第2回保健師・栄養士等各種研修会運営委員会
・元気な高齢者支援事業(塩竈市)
・共同電算処理に係る保険者巡回訪問(仙台市)
- 13日(火)
・在宅保健活動者連絡協議会研修会
- 15日(木)
・市町村等データヘルス推進会議(石巻合同庁舎)……③
- 16日(金)
・柔道整復審査委員会
・東北地方国保診療施設協議会連絡会義(岩手県)
・健康づくり支援事業(泉区)
- 20日(火)
・平成28年度宮城県保険者協議会「データヘルス推進研修会」
・第3回宮城県国保連合会保健事業支援・評価委員会事業支援部会
- 21日(水)
・介護給付費等審査委員会介護医療部会
・障害介護給付費等支払業務に係る市町村巡回訪問(白石市・大河原町)
- 21日(水)～27日(火)
・診療報酬審査委員会
- 27日(火)
・レセプト点検事務巡回支援(美里町・涌谷町)
- 28日(水)
・介護保険業務に係る巡回訪問(丸森町)
- 29日(木)
・介護サービス苦情処理委員会

平成28年8月

②平成28年度市町村国保連協委員
及び国保主管課長合同研修会

31日、仙台市シルバーセンターを会場に開催した本研修会には、国保連協委員、国保主管課長等99名が参加し、国民健康保険中央会飯山幸雄常務理事から「国保をめぐる諸情勢について」、また元NHKキャスター久田直子氏からは「元NHK「きょうの健康」キャスターが伝授！～健康長寿のための食事と運動とは？～」と題した講演が行われました。



平成28年8月～9月

③市町村等データヘルス推進会議

8月初旬から9月中旬にかけ、県内4会場でブロック毎に市町村等データヘルス推進会議を開催しました。本会議は、平成30年度からの第2次データヘルス計画策定等の支援を目的とし、特に保健事業の評価に重点を置きました。講師に本会保健事業支援・評価委員会事業支援部会委員を招き、講演後はワークショップ、意見交換を行い、参加した保険者担当者はデータヘルスについての理解を深めました。(写真は8月25日の様子です。)



秋の味覚を楽しもう!!



～具材がいっぱいのおふかし～

もち米を蒸かしたものが「おこわ」ですが、蒸かすことから「おふかし」ともいいます。ごぼう、しいたけ、糸こんにゃく、ひじき、枝豆などの具材には食物繊維が豊富に含まれており、血糖値の上昇を抑える働きをします。季節の食材でおふかしをお楽しみください。

五目ぶかし

1人当たり栄養価 エネルギー：379kcal たんぱく質：10.5g 塩分：1.1g



材料(6人分)

もち米	3合	鶏胸肉	100g
ごぼう	50g	枝豆(秘伝豆)	50g
人参	50g	しょうゆ	35cc
しいたけ	2枚	みりん	20cc
油揚げ	1枚	酒	15cc
糸こんにゃく	50g	砂糖	15g
芽ひじき	10g	油	大さじ1

旬の食材 角田の秘伝豆

9月下旬～10月上旬が“旬”の秘伝豆は香り良く、甘味があって、大粒で食べ応えのある枝豆のため、茹めがが一番です。また、「ずんだ」にも最適です。

作る上でのポイント

- 強火で蒸すのがポイントです。
- 蒸し器の下のお湯がなくなっていないか、再び蒸す時に確認しましょう。

作り方

- ①前日に、もち米は洗ってたっぷりの水に一晩浸す。蒸す1時間前に水切りする。
- ②芽ひじきは水につけて戻す。鶏肉は細かく切る。糸こんにゃくは3cmくらいに切る。油揚げ、しいたけ、人参、ごぼうは千切りにし、ごぼうは水につけてアク抜きをする。
- ③枝豆(秘伝豆)はゆでて、さやから出しておく。
- ④鍋に油を熱し、鶏肉を炒めてから枝豆以外の材料を入れて炒め、調味料で味つけし、汁気がなくなるまで煮る。
- ⑤蒸し器に水で湿らせ絞った蒸し布をして、その上に水切りしたもち米を入れ、蒸し布の端をかぶせる。真ん中は、火が通りづらいので、へこませておく。
- ⑥蒸し器から湯気が上がって20分ほどしたら、ヘラをさしてみても米の感じ(米の芯)がなくなったら、敷き布ごと米を持ち上げ、水を吸んだボールに浸した後、敷き布ごと手早く水気を絞る。
- ⑦⑥を蒸し器に戻し、④の具材を混ぜて再び強火で蒸し、湯気が上がって15分ほどしたら、味見をして、硬さが丁度よければできあがり。器に盛り秘伝豆をのせる。(※写真は梅肉をのせたもの)



角田市市民福祉部 健康推進課副主幹
(職歴行政栄養士21年)

さとう はるみ
佐藤 春美

好きな料理:野菜料理

角田市の食

角田市では、「米」「豆」「梅」「夢」「姫」の5つの“め”を“歴史”と“未来”を“食”で繋ぐまちづくりのキーワードにしています。また、食の3“め”を中心に多くの生産物が作られ、豊かな地産地消型の「食文化」があり、家庭では、祝い事や行事のときは、おはぎやおこわなど『もち米を使った料理』が母から娘へ、姑から嫁へと受け継がれてきました。「地元でとれたものを食べて健康に過ごす」という、地域に伝わる昔からの知恵を活かしながら『食』の輪を広げていきたいと思っています。今年の「ずんだまつり」は10月2日(日)でしたが、角田秘伝豆の他にも新鮮で美味しい野菜や果物などたくさんありますので、ぜひ、角田市へお越しください。

宮城県国民健康保険団体連合会
KOKUHO MIYAGI

みやぎの国保 10

2016 Autumn [No.266]

【発行月】平成28年10月
【発行所】宮城県国民健康保険団体連合会
(宮城県仙台市青葉区上杉1丁目2-3)
【TEL】022(222)7070
【URL】<http://www.miyagi-kokuho.or.jp>
【印刷所】株式会社ホクトコーポレーション

